

自由ソフトウェア としての Ruby

Ruby is free, so we are free!

塩崎量彦(かずひこ) Nexedi SA

<http://kazuhiko.tdiary.net/>

自己紹介

- 建築の学生



- グラフィック・デザイナー



- フリーソフトウェア・プログラマ

自己紹介

- フランス、リール在住
- Nexedi SA 所属
オープンソース ERP
「ERP5」のベンダ
www.erp5.com



ここ重要！

自由

平等

博愛



今日のお話

- フリーソフトウェア
- コピーレフト
- Ruby とフリーソフトウェア

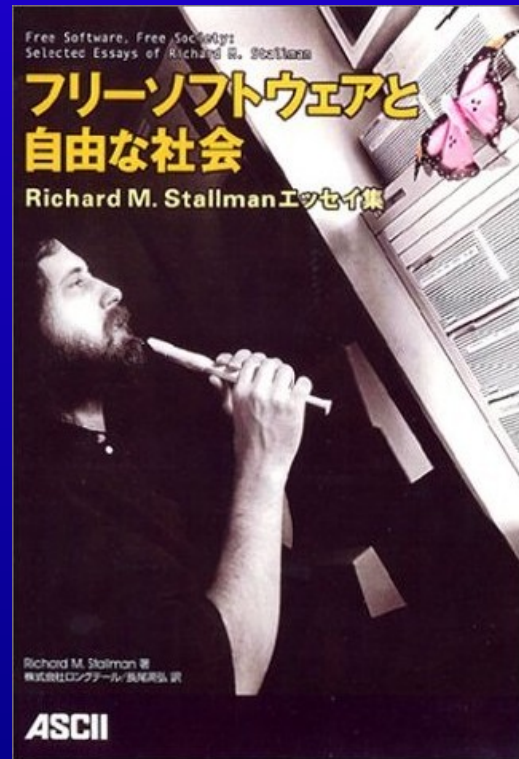
用語集

- Richard M. Stallman (RMS)
 - ・ フリーソフトウェアの提唱者
- GNU (GNU's Not Unix) Project
 - ・ フリーソフトウェアによる Unix 互換環境を開発するプロジェクト
- FSF (Free Software Foundation)
 - ・ フリーソフトウェアの主要なスポンサー財団



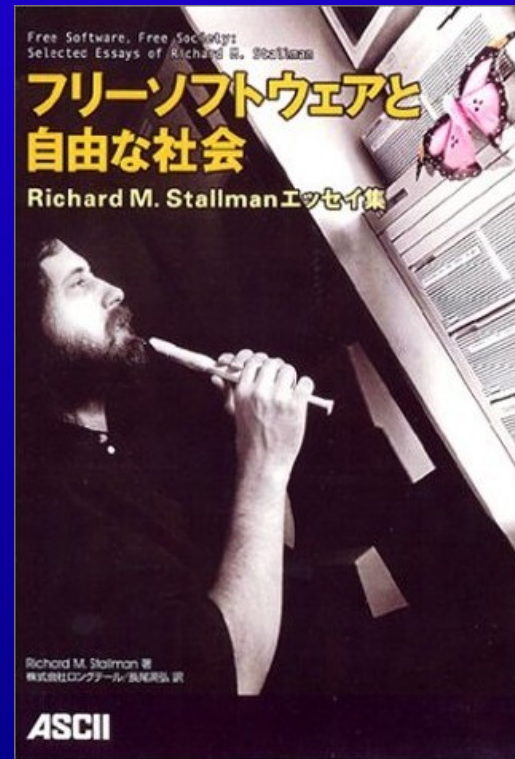
参考図書

- フリーソフトウェアと自由な社会
— Richard M. Stallman エッセイ集
- 今ならまだ初版が買えます



参考図書

- 「時代には、必ずそれを代表する哲学者がいる。すなわち、時代の想像力を掴んだ作家や芸術家のことである。(中略)私たちの時代にも、哲学者がいる。」
Lawrence Lessig による序文



参考図書

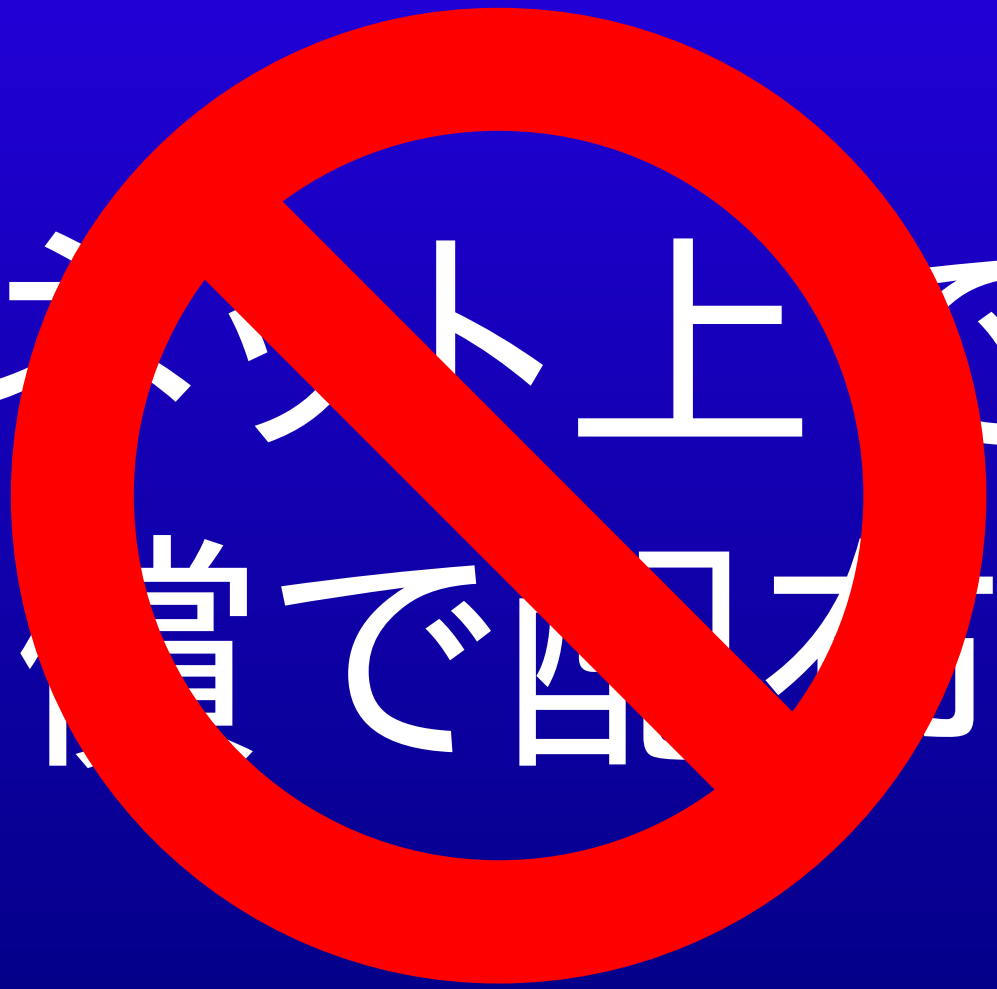
- オープンソースソフトウェアの育て方
- 明後日 7/27 発売



昨年の
おさらし

オープンソース の定義

無償で留めず？



ボニータイムが
無償で開巻？



コトを二テ、に
よる開発?



オーストラリアのオースは

質が悪くて
当たり前？



どれも間違い。
まったく無関係。

オープンソースの定義 (1/2)

- 再配布の自由
- ソースコード
- 派生ソフトウェア
- 作者のソースコードの完全性
- 個人やグループに対する差別の禁止

オープンソースの定義 (2/2)

- 利用する分野に対する差別の禁止
- ライセンスの分配
- 特定製品でのみ有効なライセンスの禁止
- 他のソフトウェアを制限するライセンスの禁止
- ライセンスは技術中立的でなければならない

全部で 10 項目

フリーソフトウェア の定義

フリーソフトウェアの定義

- 目的を問わず実行する自由
- 研究して変更する自由
- 再配布する自由
- 改良して公開する自由

たったの4項目

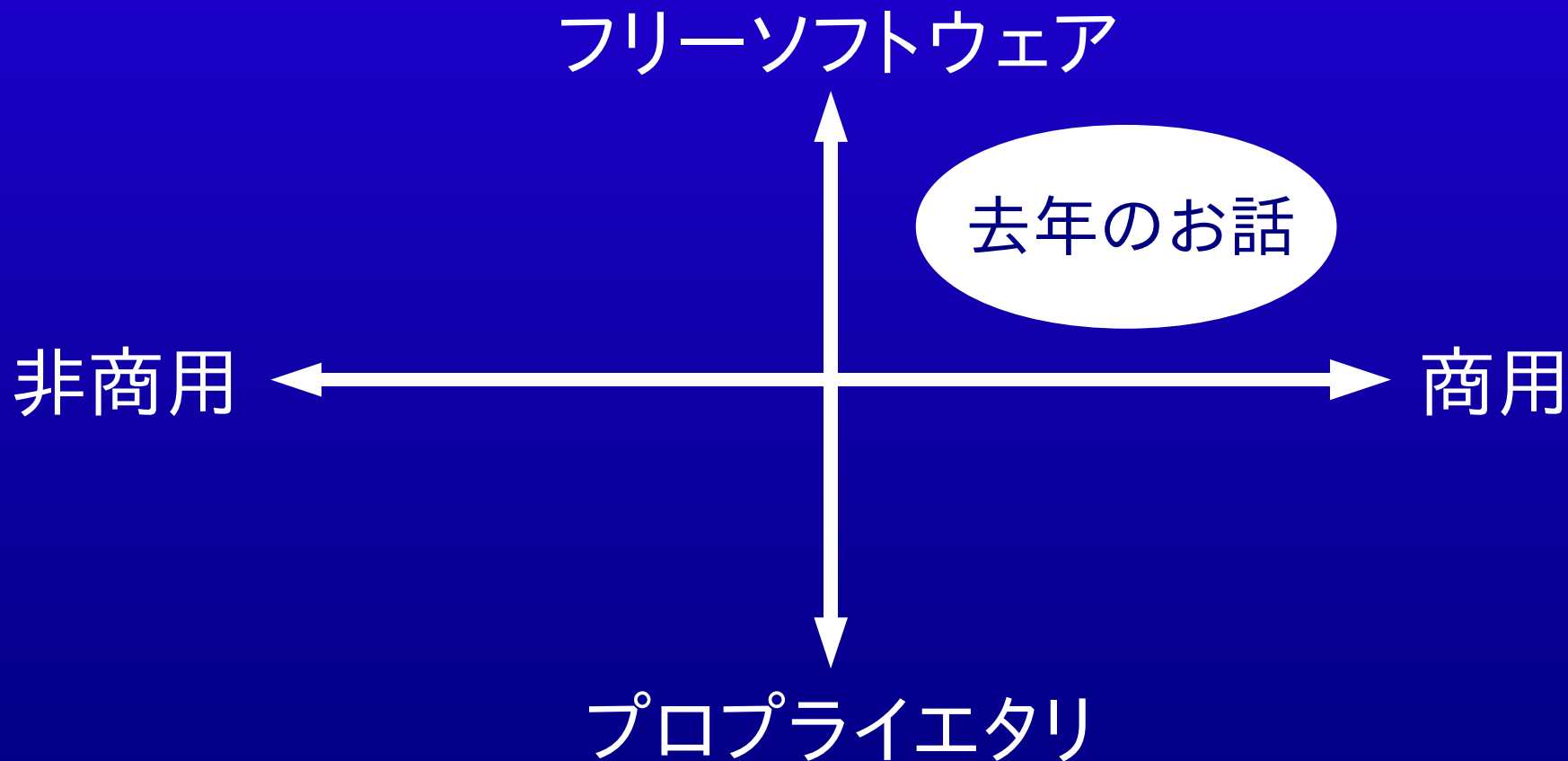
今日からは
フリーソフトウェア
を語るう！

フリーソフトウェアと商用

- 有償での再配布を制限しない
- 利用する分野を差別しない

フリーソフトウェアでビジネスするのは「自由」

フリーソフトウェアと商用は別の基準



フリーでないソフトウェア

- プロプライエタリ (Proprietary) ソフトウェアと言う
- 私有ソフトウェア、独占的ソフトウェア等とも訳す

フリーでないソフトウェアを「商用ソフトウェア」とは
言わないで！！！！

コピーレフト (Copyleft)

- 再配布や改変をする場合に、制限を加えることができない
- 自由を広めるための動機付け
- フリーソフトウェアにとって必須ではない



コピーレフト (Copyleft)

- プロプライエタリ・ソフトウェア開発者は著作権を使ってユーザーの自由を奪う
- コピーレフトは著作権を使ってユーザーの自由を保証する
- Copyleft – all rights reversed.



コピーレフトの成果

- GNU C++ by MCC (かつて存在した業界内コンソーシアム)
- GCC (GNU C コンパイラ)が GNU GPL だから、それとリンクする C++ フロントエンドにも GPL が適用された

コピーレフトの成果

- GNU Objective C by NeXT Inc. (Steves Jobs が作った会社)
- GCC (GNU C コンパイラ)が GNU GPL だから、それとリンクする Objective C フロントエンドにも GPL が適用された

コピーレフトとプログラマ

- 職場が、プログラマの成果をプロプライエタリにできない
- 退職したり、職場がそのソフトウェアを放棄しても、引き続きそのコードを使える

コピーレフトの限界

- ウェブサービスにウェブブラウザ等を通じてアクセスする場合、「配布」も「複製」もないので、改変したソースを要求できない
→ コピーレフトが機能しない

そういうケースのために GNU AGPL が作られた

X11 ライセンス

- フリーソフトウェアライセンス
- 非コピーレフト
- 改変したソフトウェアをプロプライエタリにできる
- 「ソースの利用の自由」

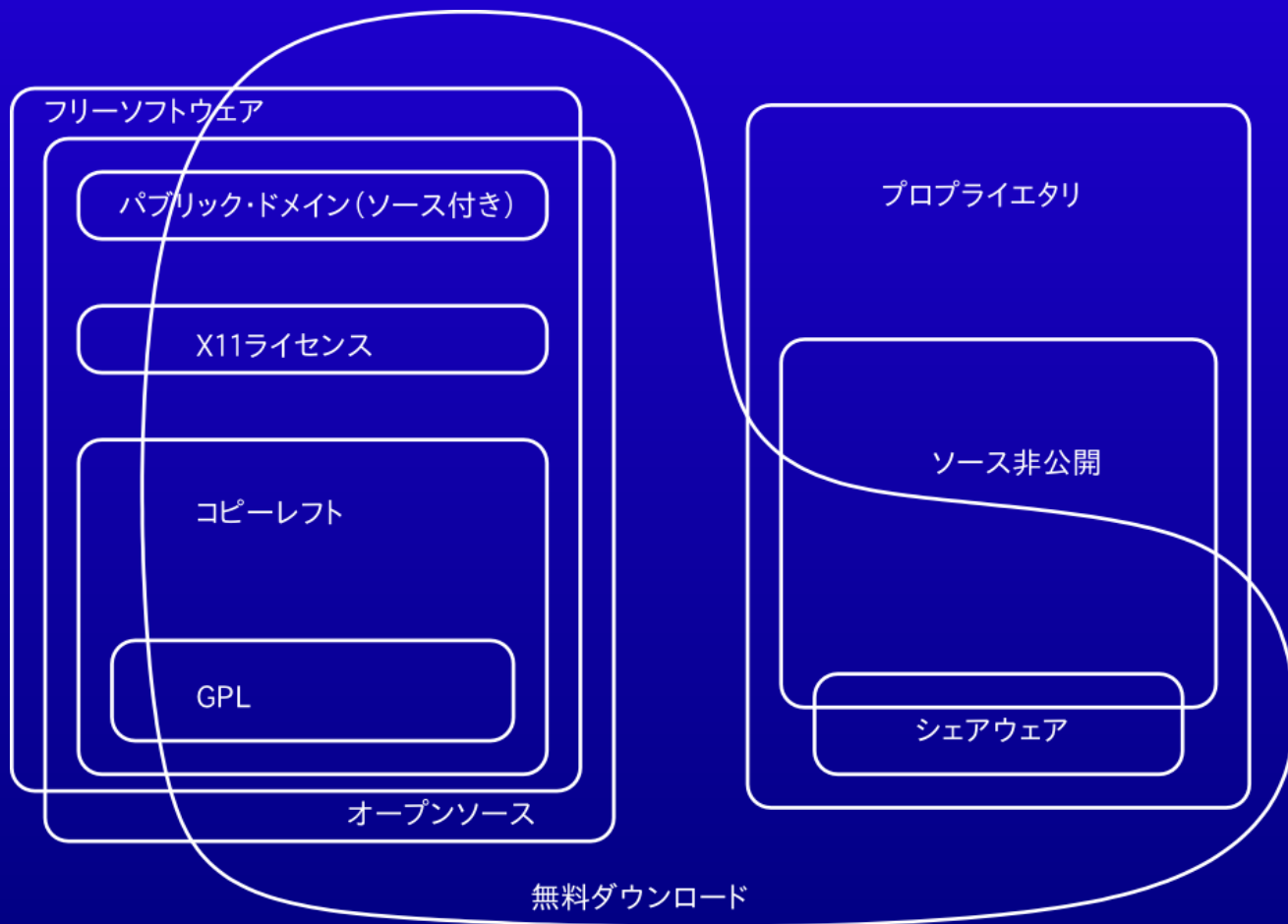
GNU GPL (General Public License)

- フリーソフトウェアライセンス
- コピーレフト
- 改変したソフトウェアをプロプライエタリにできない
- 「ソースの入手の自由」

ライセンスいろいろ

- 曖昧すぎてフリーソフトウェアライセンスと言えないもの(例 Artistic licence 1.0)
- フリーソフトウェアライセンスだけれど GNU GPL と相容れないもの(例 Apache licence 1.0, 1.1)
- 混ぜるときは要注意

ソフトウェアの分類



Ruby のライセンス

- GNU GPL と (Artistic License に似た) 独自ライセンスのデュアル・ライセンス
- 2001 年頃に、ruby-list ML でたくさんの議論があった (が、変わらなかった)

なぜ GNU GPL ?

- 開発当初の正規表現エンジンが GNU GPL だったので GNU GPL を適用する必要があった
(その後、LGPL のものに置き換わり、ruby-1.9 では別の BSD ライセンスのものに置き換わった)

なぜ独自ライセンス？

- 自分が書いたコードについてはより緩くしたかった (by Matz)
「ソースコードの流用を明示的に許可したライセンスを提供したいと考えていました」
- そこで、Artistic ライセンスをベースに、流用を許可し、入出力データには制限がおよばないことを明記したライセンスを用意した

独自ライセンスの問題

- Richard M. Stallman says:
It has some of the ambiguity problems of the Perl Artistic License, from which it was derived. Because of them, I can't say it is a free software license.
([ruby-list:30001])

Matz 曰く

- たとえば、私が Ruby ライセンスを定めた時には、コードの一部を引用することについて明示的に許可したいと考えた。しかし、実際には BSD ライセンスや GPL でも(少々明示的でないだけで)十分にカバーできる。

(<http://www.rubyist.net/~matz/20030608.html>)

インタプリタ言語とプログラムの関係

- The interpreted program, to the interpreter, is just data; a free software license like the GPL, based on copyright law, cannot limit what data you use the interpreter on.

(<http://www.gnu.org/copyleft/gpl-faq.html#IfInterpreterIsGPL>)

結局、Ruby のライセンスは？

- GNU GPL とのデュアルライセンスなので、フリーソフトウェアライセンスであり、かつ GNU GPL と相容れるライセンス

あなたが Ruby でできること

- 目的を問わずに Ruby を自由に実行できる
- Ruby を自由に研究して変更できる
- Ruby を自由に再配布できる
- Ruby を自由に改良して公開できる

あなたが Ruby でできること

- Ruby に同梱されているライブラリのソースを読んで、Ruby の書き方を勉強できる
- Ruby 本体のソースを読んで、C の書き方を勉強できる

あなたが Ruby でできること

- Ruby を組み込んだ製品を改変部分のソースを開示せずに販売できる

GNU GPL と相容れなくなる

ruby-1.8 系では、`regexp.[ch]` (LGPL) に注意

あなたが Ruby でできること

- あなたの Ruby プログラムに、好きなライセンスを選ぶことができる

GNU GPL のライブラリを require する時は、プログラムも GNU GPL と相容れるものである必要がある

ちなみに Rails は X11 ライセンス

あなたが Ruby でできること

- Ruby で動くフリーソフトウェアのアプリケーションはたくさんある
 - ・ Typo, Retrospectiva, tDiary, Hiki, Rabbit, ...
- Ruby で動くフリーソフトウェアのライブラリもたくさんある
 - ・ Ruby on Rails, Rack, Ruby/SDL, ruby-dbi, ...

あなたが Ruby でできること

- Ruby や Ruby で動くフリーソフトウェアをたくさん研究して、成長して、さらに素晴らしい成果を生んでください

おわりに

- 社会は、隣人を助けることを奨励するものであってほしい。しかし、他人の邪魔をしたことに対して誰かに報酬を与えるたびに、あるいはそのようにして富を得た人物に敬意を表するたびに、私たちは逆のメッセージを送ることになるのである。
(「フリーソフトウェアと自由な社会 p.210)

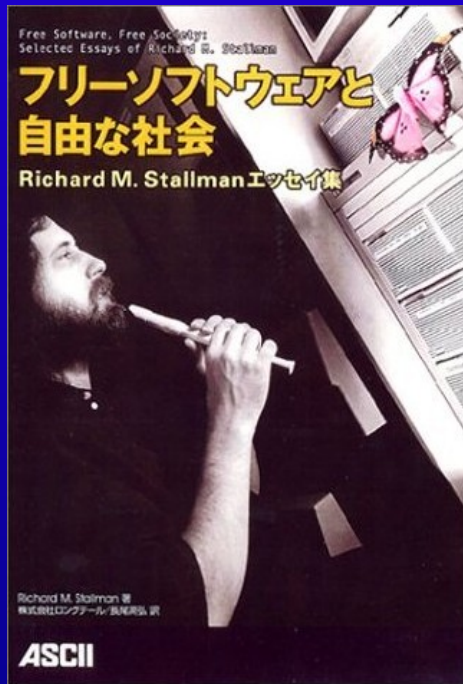
今日のまとめ

- フリーソフトウェアは「無料」ではなく「自由」なソフトウェア
- フリーソフトウェアを広める手段としてのコピーレフト

今日のまとめ

- Ruby はフリーソフトウェア
- もっと自由を謳歌しよう

今日のまとめ



<http://www.gnu.org/>